

④ 河川愛護団体の刈草範囲が狭くなつた影響は。

A 河川愛護団体が除草を実施している河川は、主に県管理河川である。従来どおり除草を行つてゐる団体もあれば、人手不足や熱中症予防などで除草面積を減らしてゐる団体もある。刈草範囲が狭くなつた影響は、河川堤防の状態の把握困難、景観の悪化、ごみの不法投棄などが心配される。本来であれば河川管理者が適切な維持管理を行うべきであるが、現状としては地域の皆さんに可能な範囲で河川愛護への協力を依頼してゐるところである。

〈執行部回答後の議員意見〉

河川愛護の目的で流域の自治会が除草を行つてゐるが、今後、過疎化が進む地域も発生することが予想されるため、市民全体で考える方向に持つていくべきである。

審査  
ピックアップ  
案  
議  
第63号

菊川市一般会計補正予算（第2号）

④ 小菊荘について、修繕を必要としている箇所が多いと聞いてゐるが、今後の修繕予定は。

A 今回の補正では、厨房の換気扇不具合の修繕、ボイラーガス漏れ時にメーター側でガスを遮断するための工事、その他に緊急的に発生する修繕にかかる経費を計上した。今後は、施設の老朽化や2年間の休館の影響に伴う緊急的な修繕を予定してゐる。また、館内照明のLED化や屋上防水塗装の塗替え、空調機器の更新、宿泊室の畳の張替えなど中長期的な修繕や更新工事を計画的に実施していぐ。

④ 学校給食施設の破損劣化とあるが、施設の老朽化を考えると今後も想定されるのではないか。食の安全性を鑑みて、その対応は。

A 調理機器や給排水設備など、衛生管理に直結する部分を優先して修繕を行うとともに、設備の点検結果を踏まえた更新も進めているが、機器や設備全般に経年劣化が進み、緊急的な修繕が必要となつてゐる。優先度に応じた修繕計画を策定し、施設の修繕・更新を進めるとともに、中長期的な視点から、今後必要となる施設の機能や規模についても検証を行い、必要に応じて

大規模改修や建替えも含めた検討を進めていぐ。

〈執行部回答後の議員意見〉

突発的な修繕が多いという印象を受けたが、予防修繕も含めて、計画的に給食センター運営をしていただきたい。



〈執行部回答後の議員意見〉

新しい施設管理者がおいしい食事を提供しておりありがたいが、蓮池公園も含めた環境づくりが必要ではないかと思う。施設と一体で魅力を高めるための予算措置が必要。